



笠懸小学校は今年も思いやりも群馬県一を目指します!

やさしく  
たたく  
しまし  
やく



笠懸小学校

学校だより No.36 2023.1.20

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

## 「かさヒマール」誕生記念!航空写真と全員集合写真を撮影します

来週1月25日(水)の4校時に、子どもたちの思い出になるようにと、航空写真と全員の集合写真を撮影することになりました。人文字のデザインについては、6年生に募集し、冬休みを中心に取り組んでもらいました。6年生のデザイン案を基に、校庭につくる人文字を業者がデザインして撮影します。飛行機(セスナ機)はちょうどお昼頃に笠小上空に飛んで来るそうです。この行事を通して、分離後の初めてとなった令和4年度のよい思い出になればうれしいです。後日、写真販売についてご案内しますので、希望のご家庭はお求めください。



このような人文字になります!  
※この案は6-2大澤希奈さんのものです。

人文字デザインは、以下の皆さんのデザイン案を基に作成されました。

6-1 酒井 梨杏さん 6-2 石田 結愛さん 6-2 大澤 希奈さん 6-2 鹿木 亜美さん  
6-2 橋爪 萌杏さん 6-3 長谷川里桜さん

## 書き初めを実施しています

毎年恒例、「書き初め」を行っています。毛筆の学習が始まる3年生以上の児童がチャレンジしています。18日(水)の5、6校時は、4年生が取り組みました。体育館に学年全員が集まっているにもかかわらず、物音がほとんどしない、ピンと張り詰めた空気の中、一枚一枚集中して書くことができていました。「納得のいく字が書けたよ。」とか「名前もいつも以上によく書けたよ。」など、熱心に取り組めた充実感を伝えてくれる子どもが多くいました。墨のニオイとすがすがしい緊張感を味わえるこの行事から、子どもたちは「新春に取り組む書き初め」の気持ちよさを感じたことでしょう。作品は今後、校内に掲示します。保護者の皆様には、授業参観等で学校へお越しになった際、作品を鑑賞していただき、併せて、子どもたちの頑張りを認めるお声掛けをいただければ幸いです。



元気いっぱいのよい字が書けました

## 令和4年度第2回学校評価の結果④「自由記述より」その3

前号に引き続き、自由記述についてのシリーズ3回目です。

観点	保護者の皆様からのご意見
児童の様子	①あいさつしてくれる子達もいるので、うれしい。 ②朝登校時の挨拶を元気よくしてほしい。 ③旗持ちで車を止めていると、「ありがとうございます。」や「おはようございます。」と挨拶をしてくれる子が多い。自分の子もそうなって欲しいと思う。 ④思いやりのある子が多い。 ⑤友達との関わりあいで良さを感じます。インターネットがないので、休みは友達と遊んでいないので、そこは不安です。 ⑥2年生は元気な子が多いように感じます。来年度、人数で2クラスではなく3クラスで少人数で目が届くように見てもらえたら…と感じています。
	今後の取組や対応

- ①②③あいさつについては、以前にも増してよくなってきているというお声をいただくようになりました。家庭と学校とで一貫して取り組んでいる成果でもあると感じています。始業式でも子どもたちと確認したところですが、「お家の人や旗振りの方々にも進んであいさつする」が3学期の重点の一つです。子どもに呼びかけることに加え、まずは「あいさつできるとうれしいな。気持ちがいいな。」という経験を積み重ねられるように協働してまいりましょう。そして、将来必要となる「コミュニケーション力」を育てていきましょう。現在の高学年の子どもたちの素晴らしい様子を低中学年の児童も見ています。笠小のよき伝統として根付き、広がっていくことを学校も期待しています。
- ④たいへんうれしいご意見をいただきました。「思いやり」については、このお便りのタイトルにも示してあるように「笠懸小学校は今年も思いやりも群馬県一を目指します!」とし、最重要な事柄として取り組んでいます。子どもたちも、学校通信No.33でお知らせしたとおり、「自分は人に優しく親切にできる」と自覚していて、素晴らしいことだと感じています。これからも「他の人からの思いやりが分かり、思いやりを他の人に届ける」活動を、復興のひまわり活動と絡めながら発展させていきます。
- ⑤子どもは、直接人と関わりながらいろいろなことを学んでいくと思います。学校は学習だけでなく人間関係を学ぶところでもあります。お休みの日に遊べないという不安をお寄せいただきましたが、休日の過ごし方は多様ですし、学校生活でも友だちと関わり遊ぶ機会はたくさんあります。
- ⑥少人数クラスの実現は皆が希望しているところですが、国や県の「クラス編制基準」に則って教職員が配置されることから、人数によるクラス編成をせざるを得ないのが実情です。3学級であった学年が2学級に減った場合に備え、両方のクラスに関わる教職員を配置できるよう準備しています。

観点 保護者の皆様からのご意見

教職員に  
対して

- ①担任の先生のおかげでのびのびと勉強できています
- ②担任の先生のお陰で真面目に勉強をしています。
- ③担任の先生がとても良く見てくださってありがとうございます。
- ④先生に相談しやすく、安心して通わせてられています。
- ⑤担任の先生には丁寧に対応していただき、信頼することができます。子どもの会話からも本人の励みや自信になるような声掛けをしてもらっていると感じます。いつもありがとうございます。
- ⑥担任の先生の手厚い指導に感謝しています。
- ⑦教師、保護者の連携がうまく取れていると思います。
- ⑧子供と向き合い寄り添うという事
- ⑨担任の先生がよく見てくださってありがとうございます。
- ⑩校長先生がペース走に参加している姿に好感を持ちました。
- ⑪電話の対応も良い。
- ⑫発達障害について教員の知識を高め、子ども達の個性を理解した方が良いと思いました。
- ⑬お世話になっております。支援級に通っていますが通常級の教科ごとの先生方にも、その子の特徴、指導の仕方などを少しでも伝えていただけると保護者としては幸いです。よろしく願いいたします。



今後の取組や対応

- ①～⑪今回も教職員に対してたくさんの励ましの言葉をいただきました。より一層子どもたちのために愛情と情熱をもって、力を尽くしてまいりたいと思います。再度の確認になりますが、学校の教職員は保護者の皆様と一緒に子どもを育てる協力者です。よいことにも課題にも親密なコミュニケーションを図り、一人一人の成長を促していきましょう。ありがとうございます!
- ⑫⑬「一人一人の個性に応じ、学習しやすい、過ごしやすい環境を整える」ことが通常学級でも特別支援学級でも、現在の学校課題であり、目指す姿であると考えます。将来にタイムリーなご意見をいただきました。3学期の教職員研修の最重点がこのことであり、「インクルーシブ教育の考えに基づく合理的な配慮」についての知識や考え方を習得し、実践できるよう努めてまいります。